

「アジアの発展に役立つ原子力を考える」講演会
- アジア原子力協力フォーラムの成果 -

10月12日

講演	
14:00-14:10	挨拶
14:10-14:40	切らないで「がん」を治す放射線治療 - アジア途上国で増えている「がん」 - 辻井博彦（放射線医学総合研究所 重粒子医科学センター長）
14:40-15:10	巨大な人口を抱えるアジアの食糧を確保するために - 放射線を利用した品種改良で収穫を増す - 中川 仁（農業生物資源研究所 放射線育種場長）
15:10-15:40	J-PARCは生活にいかに役立つか 鈴木 國弘 （日本原子力研究開発機構(JAEA) J-PARC センター運営支援セクションリーダー）
15:40-16:00	休 憩
パネル討論	
16:00-17:20	テーマ：「日本に期待される国際協力」 司 会：町末男日本コーディネーター パネリスト：小沼平（茨城新聞）、辻井博彦、中川仁、鈴木國弘、杉本純（JAEA）、 劉維（JAEA）、サハ・プラナブ・クマール（JAEA）、テディ・ハリアント（筑波大学） ・町コーディネーターによるFNCA概要説明及びパネル討論の論点 ・パネリストからの意見、コメント及び討論 ・来場者との質疑応答 ・町コーディネーターによる総括